

平成 27 年度における総合防災訓練の実施結果について（当初施設主体分）

今年度の当初施設主体の総合防災訓練を実施しましたので、結果を報告します。

なお、次年度の総合防災訓練は当初施設と増設施設の合同訓練を予定しています。

項目	内 容
実施年月日	平成 27 年 9 月 17 日 (木) 10 時 00 分～11 時 10 分 (天候：晴れ)
参加人員	・ 公設消防隊：隊員 26 名、車両 9 台（指令車 1 台、消防車 3 台、救急車 1 台、その他車両 4 台） ・ JESCO：38 名・MEPS：49 名・SKS：1 名 ○合計 113 名 ほかに、行政ほか視察者 7 名、報道 2 名
訓練の目的	主に当初施設を対象として、緊急地震速報受信時の安全確保、地震時の避難、設備点検、119 番通報、火災・PCB 汚染負傷者発生時の対応、及び、公設消防との連携等、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認する。
想定事象	① 地震発生（震度 4 程度：想定 40gal） ② 火災発生（処理棟 1 階 受入室（一般管理区域）から出火） ③ 攪拌洗浄エリア（管理区域レベル 3）で作業員が負傷、PCB に被液
訓練項目	① 緊急地震速報受信時の行動（棚等から離れ、机下に頭を入れる、等） ② 地震計吹鳴（40gal）→避難（当初施設前駐車場）、対策本部（管理棟 1F 執務室）、指揮本部（管理棟 2F 中制御室）、消防隊設置（当初施設前駐車場） ③ 設備点検の実施 ④ 火災・負傷者発生時の 119 番通報及び初期対応（放水訓練含む） ⑤ 行政等関係箇所への通報連絡 ⑥（公設消防指揮権移譲後）公設消防隊による消火活動、化学防護服着用による搬送活動、PCB 汚染負傷者の除染テント設営による除染活動及び救急車による搬送活動
訓練結果	JESCO、MEPS 及び室蘭市消防本部の連携の下、予定された訓練項目を滞りなく消化し、総合的な防災活動が確実に実施できることを確認できた。
主な反省事項	[ハード面] ・ 無線機の通話中に一般者（工事業者？）との混信があった。 ⇒ 事象発生後、全館放送で無線機のチャンネルを指定することにより混信を防止する。 [ソフト面] ・ 自衛防災隊から公設消防への指揮権移譲後、公設消防隊の活動が活発になるが、活動内容を自衛防災隊内で記録するしくみが不十分である。 ⇒ 記録の取り方を検討し、公設消防隊の活動内容が適切に記録できるようにする。

- ・ 添付資料：訓練状況写真

平成27年度 当初施設総合防災訓練状況
(2015-9-17)

【実施日】 2015年9月17日(木) 10:00~11:08
【訓練目的】 JESCO、MEPS、室蘭市消防本部が連携して、緊急地震速報受信時の基本行動、役割分担、自衛防災組織活動、関係機関との連絡、PCB漏洩・汚染者発生時の対応・被災者の救出、消火器・消火栓による消火活動等、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認する。
【訓練内容】 地震発生(地震計40gal以上)を起因とし、受入室火災発生による消火器・消火栓と、PCB汚染負傷者の発生を想定した救助及び除染、指揮権委譲後の管理棟火災発生時の避難対応。
【参加人員】 MEPS49名(中制・保安員除く)、JESC38名、公設消防26名、合計113名
【消防車】 9台(指令車1台、消防車3台、救急車1台、その他資機材搬送車等4台)

緊急地震速報放送後のJESCO事務所(当初)



青木所長:全館避難放送を指示



JESCO職員(当初) 避難状況



指揮本部(当初) 設置完了



公設消防隊:受入室消火活動



自衛防災隊:救護活動



公設消防隊 要救助者 救出開始



対策副本部長 自衛防災隊解散、訓練終了を全館放送→正面玄関前集合

